

来週の「売り物記事」はこれ



2018年5月11日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

差別をなくす教育とは 大学で「LGBT」教えるゲイの講師

13日(日)



ストーリー

広島修道大でこの4月、「LGBT差別」をテーマにした講義がスタートしました。担当するのは自身もゲイ（男性同性愛者）の眞野豊さん（36）＝写真。小学生のころから生きづらさを抱え、学校現場の差別をなくすには、まず教員を目指す学生たちに性的少数者（LGBTなど）について知ってもらう必要があると考え、非常勤講師として大学の教壇に立つことにしました。「セクシュアリティ（性のあり方）は人権問題」と喝破する眞野さんの情熱の原点に迫りました。



筆者は東京社会部の遠山和宏記者です。

目指せ「野球の神様」

夕刊特集ワイド 14日(月)



「二刀流」を引っさげて太平洋を渡った23歳が日米の野球ファンを熱狂させています。日本ハムから米大リーグ・エンゼルスに移籍した大谷翔平選手＝写真手前。開幕1カ月の成績は、元祖二刀流で「野球の神様」と称されるベーブ・ルースの年間記録に向け、幸先良いスタートを切りました。オープン戦の不振でメディアから酷評されましたが「投打のフォームを短期間で修正できた」（スポニチ解説者の榎原寛己さん）。開幕後の成績は3勝・4本塁打を記録。投打とも目を見張る活躍にファンやマスコミは「世界の宝」「大谷は本物だ」と称賛します。身長193センチという恵まれた体と強固な精神力刀流を貫きながら、どんな記録を打ち立てるのか楽しみだ」と声を弾ませます。大谷選手は、ルースのような「神様」になれるのでしょうか。

食 旬の豆でイタリアン

くらしナビA面 15日(火)

春から夏にかけて、さまざまな豆が旬を迎えます。鮮やかな緑は食卓を爽やかに彩ってくれる存在です。地中海風サラダ「インゲン豆とオレンジのインサラータ」や「豆のオープン焼き」「枝豆のカチョ・エ・ペペ」。イタリアンレストラン「シンプル・リトルクチーナ」（東京都文京区）のオーナーシェフ、佐藤夢之介さんに、豆を主役にしたレシピを教わりました。



パソコンの安全な処分方法

くらしナビB面 15日(火)



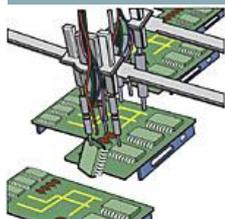
壊れたり使わなくなったりして、押し入れの中でほこりをかぶっているパソコンはありませんか。捨てるにしても、中のデータが悪用されないか心配で、二の足を踏んでいるご家庭もあるでしょう。パソコンやスマートフォンなどの小型家電には金やアルミなどの貴重な金属が含まれ、「都市鉱山」とも呼ばれています。適切にリサイクルする方法を紹介します。

人気コラム「女の気持ち」の投稿者を記者が訪ねる「女の気持ちをたずねて」。今回ご登場いただくのは東京都北区の長島光江さん(83)。ジャズダンスに熱中している大学生の孫のために5組の衣装を作りました。織物工場を営む家に生まれた長島さんは言います。「母が早く亡くなったせいでしょうか、心が敏感なところがあって、何かあると書きたくなる」と。



連載「幻の科学技術立国」

科学面 17日(木)



4月に始めた連載「幻の科学技術立国」第1部の最終回は、全国立大へのアンケート結果を紹介します。国主導の大学改革や、科学技術政策における「選択と集中」をどう評価するのか、各大学の学長・副学長を対象に聞きました。大学施設の命名権の販売など、苦しい財政状況の中で各大学が図るあの手この手の財源確保の取り組みも紹介します。

サッカー日本代表企画「どうなる西野ジャパン」

スポーツ面 16日(水)、17日(木)

サッカーのワールドカップ(W杯)ロシア大会まであと1カ月。日本代表は今月30日に横浜・日産スタジアムでガーナ代表と壮行試合を行います。そのメンバーが18日に発表されます。このメンバーの中から、最終的にW杯の日本代表選手が選考されるだけに、顔ぶれが注目されます。企画「どうなる西野ジャパン」では、誰がメンバーに入りそうかを、選手の最近の状態、西野朗・新監督やコーチ陣の発言などから展望します。



強制不妊手術で一斉提訴

18日(金)



旧優生保護法下で不妊手術を強制されたとして、手術を受けたいずれも70代の男女4人とその家族が国に損害賠償を求めて東京、仙台、札幌3地裁に提訴します。家族は北海道の女性の夫で「家族として子どもを産み育てる権利が侵害された」として、手術を受けた本人以外に初めて提訴に参加します。提訴後には記者会見が予定されており、当事者の思いを伝えます。